

事業所名 グループホーム 星の家きらり

日付 平成 20 年 10 月 7 日

評価機関名 有限会社 アウルメディカルサービス

評価調査員: 元小学校教諭
元婦人相談員

大学講師
フォトグラファー

自主評価結果を見る (評価内容と一緒に添付しています。)

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)
(記述式)

施設は国道と県道の交叉した騒がしい場所に位置しているが、一筋中に入っているため、騒音はそれほど気にかからず安らぎの雰囲気が保たれている。

リビング内に少し広めのアラウンドキッチンが配置されている。とっさに必要なものが全てキッチンの周りに整えられており、とても効率的な動きが出来るように設計されている。そして見守りもしやすい。

また、1階と2階の2つのユニットでは同じ処遇で対応されていて、各ユニット共少人数のスタッフで入居者9人の様々なケアや介護に当たっており、充分満足が得られるようサポートしている。これは、スタッフ同士の意気投合がすばらしく良くできている証拠であり、そのために入居者が安心して生活する様子が見受けられた。

特に改善の余地があると思われる点(記述式)

外出する時には参加する入居者の人数にもよるが、職員が一人加わり、更に家族の応援も得て実施されるようになると更に良いと思われる。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者一人ひとりの持っている能力を最大限に生活に活用するケアを重視する。 ・「第二の我が家」として安心して生活できることを目指し実現に努める。 ・一人ひとりの「その人らしい生活」を目指しそれに相応しい空間を築きあげる。 これらの理念を現実に変える努力を惜しまないで精進して行くと共に、その人その人の心情に併せて、少しでもやりたいことを叶えられ、満たされるよう努めている。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	変わったことには落ち着きを削ぎ易いので、よく入居者の様子を見極めて対応している。また、近くのふれあいセンターへ小グループ編成で外出することがあるが、日中は疲れ易いので気象状況や外出者の気分にも十分留意を払いながら取り組んでいる。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	入居者一人ひとり、昔のことを良く覚えているので、上手に利用して穏やかに話しかけているがそれぞれの性格によって様々なケースがあるので心を開いて語り合えるよう日々探究しながら実践して行くように心掛けている。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	利用者が穏やかに生活できていることをバロメーターとして、常日頃の生活変化の気づきや感知することに細心の配慮を惜しまないよう心掛けながら介護を行っている。		